

避難所情報充実と 避難計画支援システムの構築

これからの「まびケア」

岡山県倉敷市×「まびケア」運用チーム

平成30年7月豪雨 真備町地区浸水



倉敷市真備町地区の被害状況
(10月12日現在)

- ・死者 51人
- ・住家被害
全壊 4,646棟
大規模半壊 453棟
半壊 392棟

現地での
確認情報

口コミ
情報

避難所の
掲示物



避難所の様子

避難所の掲示板

ボランティアによる生活支援情報提供



ボランティアが現場で
情報収集～投稿



ボランティアチーム（「まびケア」チーム）が現地で収集した
保健医療（病院、薬局など）施設や飲食店、
コンビニエンスストアの開店・開業状況、トイレ、お風呂などの緊急支援サービス
など、「暮らしと健康」に必要な情報を収集、タイムリーにデータ化して提供

<https://mabi-care.com/>

課題

データ登録作業の負荷が大きい

データのばらつき
(表記・分類等)

避難場所や状況にマッチした情報の提供

他の情報提供
サイト等との連携



必要な人に生活支援情報は届いたか

倉敷市の避難場所周辺で、ボランティアによる現地調査で
収集した「まびケア」掲載スポット情報を、整理して地図上
に可視化した。

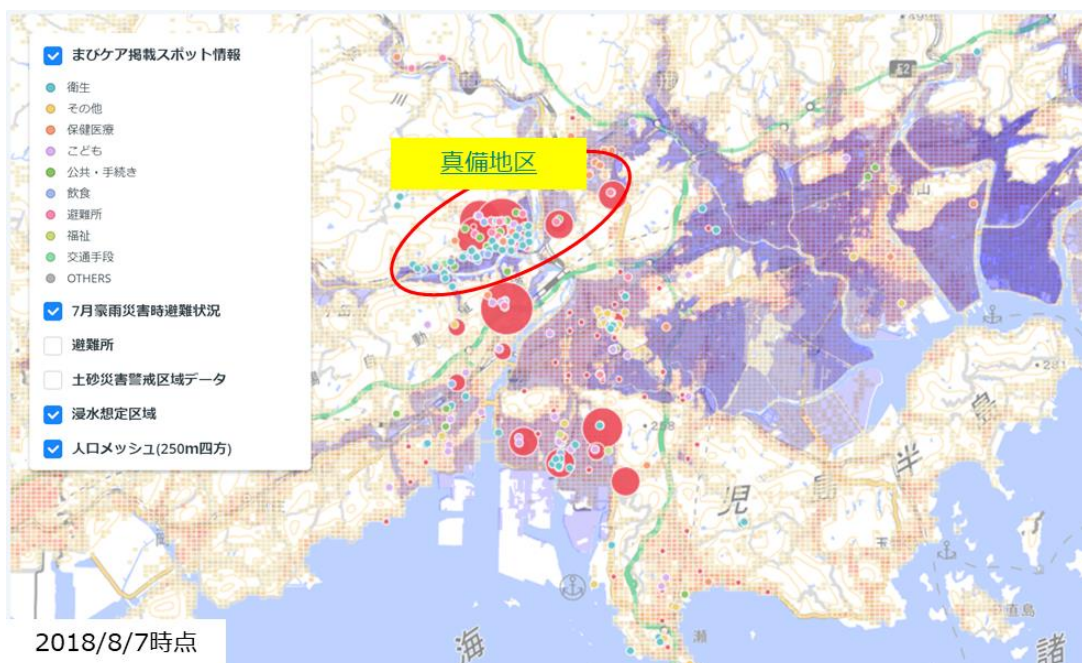
http://bit.ly/bousai_okayama4

【使用したデータ】

高梁川流域データポータル「dataeye」オープンデータカタログ

◆倉敷市_平成30年7月豪雨_避難状況

◆「まびケア」掲載情報（平成30年8月）

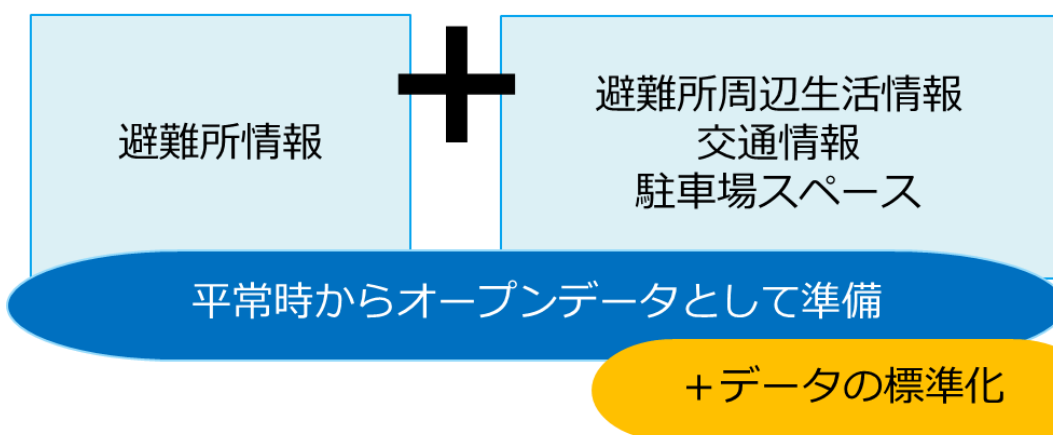


2018/8/7時点

解決アイデア

平常時に準備できるデータは用意しておく

被災者向けの生活支援情報は、緊急支援情報だけではなく、避難所周辺の店舗情報や病院などの施設情報、公共交通情報も必要である。

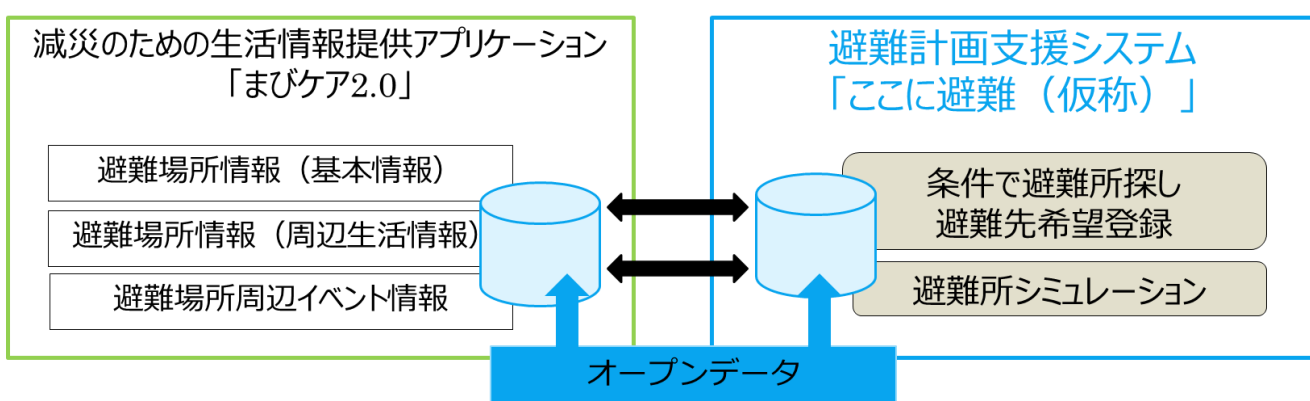


コンビニ、スーパー、ドラッグストア、飲食店、ガソリンスタンド、病院、銀行、公園、入浴施設等
交通情報（最寄り駅徒歩**分）
駐車スペース（有無、台数）

表記：避難場所名称（施設の表札・案内板との一致）
分類：水・食糧・生活環境・健康等

平常時に市民が避難先を探しておく 自治体は避難所運営を計画しておく

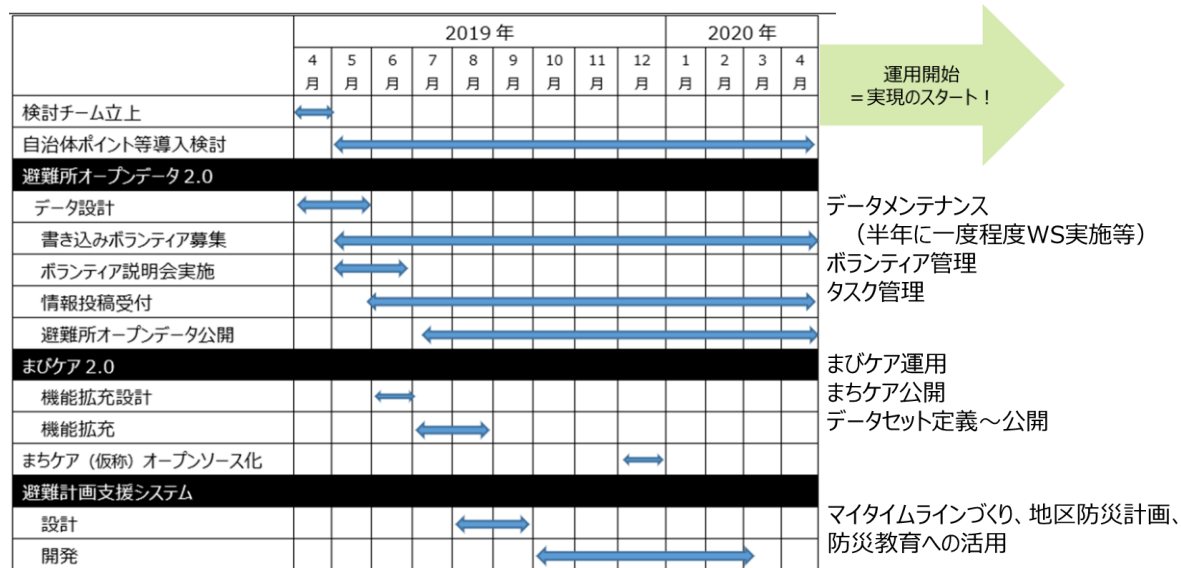
避難計画支援システム 「ここに避難（仮称）」構築



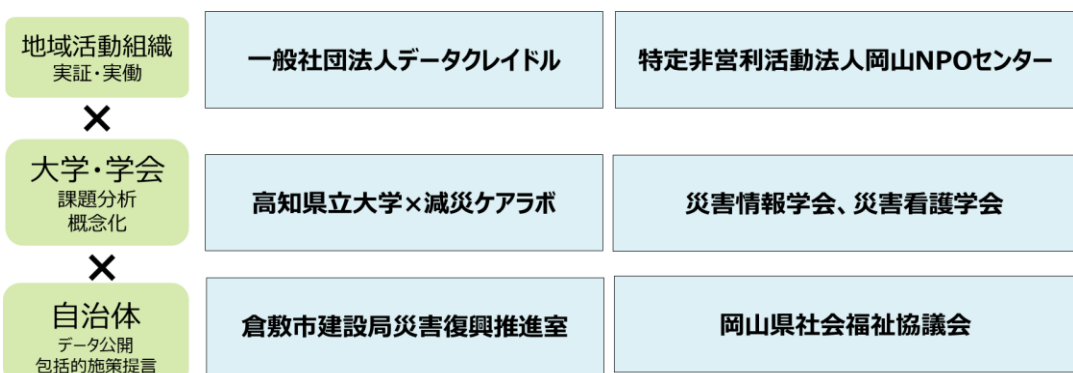
対象者	状況	避難計画支援システム「ここに避難（仮）」提供機能
市民	平常時	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ条件に合った避難先を探して「避難先希望」登録（随時更新） 自宅からの「避難」シミュレーション（立ち寄り場所設定、移動手段により移動経路と所要時間を確認） マイタイムラインづくり 連携自治体からのアドバイス
	非常時	<ul style="list-style-type: none"> 避難先を自治体等に報告
自治体	平常時	<ul style="list-style-type: none"> 市民の「避難先希望」登録状況把握 「避難所運営」シミュレーション（物資配給計画、人員配置等） 地区防災計画、防災教育 連携自治体からのアドバイス
	非常時	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じた避難所運営（物資配給計画、人員配置等）
支援団体	平常時	<ul style="list-style-type: none"> 「避難先希望」登録状況（統計、随時更新反映）参照 マイタイムラインづくり支援、防災教育支援
	非常時	<ul style="list-style-type: none"> 避難先報告（統計、随時更新反映）を参照 避難場所や状況にマッチした支援情報収集～提供などに利用

アイデア実現に向けて

●アイデア実現の流れ



●「これからのまびケア」検討チームメンバー



●重要な資源（ヒト）：書き込みボランティア

避難所周辺生活環境等の逐次収集、データ化作業は、土地勘のある避難所周辺住民にお願いする。避難所周辺情報書き込みボランティアは、特定非営利活動法人岡山NPOセンターが運営する災害支援ネットワーク (<https://saigainetokayama.org/>) を通じて募集する。



市民チーム×自治体連携

●連携会議開催状況（サポート状況）

連携会議	開催状況	自治体参加	内容
これからの「まびケア」検討会議	2018/10（3回）	倉敷市建設局	「まびケア」運営状況と課題 平成30年7月豪雨時の真備地区 浸水状況、避難所設置状況 GIS活用 平時の「まびケア」の在り方
	2018/11（2回）	倉敷市建設局	
	2018/12（1回）	倉敷市建設局	
防災情報サービスチャレンジミーティング	2018/11（2回）	倉敷市情報政策課 倉敷市建設局	ふりかえり調査結果共有 クライシスレスポンスサイト等の情報 収集、自治体等他組織提供情報の 統合について
	2018/12（1回）	倉敷市建設局	ふりかえり調査結果共有 平時の「まびケア」の在り方

●市民チーム×自治体連携の経緯

- データレイドル×倉敷市情報政策課**
平成27年度～高梁川流域圏（倉敷市・流域6市3町）のデータ利活用を協同で推進
データ利活用、アイデア創発の場としてデータレイドル内に「データ分析サロン」を設置
- データレイドル×倉敷市建設局**
平成29年度～「データ分析サロン」にGIS自主研究会を結成
GISや都市情報運用の勉強会を開催 組織を超えて
気軽に集える
「場」
- データレイドル×高知県立大学・減災ラボ×おかもやまNPOセンター×倉敷市建設局**
防災情報サービスチャレンジ2018 アクティビティ部門参加

●組織をつなぐコミュニティ

